

マリントライフ

[Vol. 257]

「マリン・アドベンチャー」が世界に!

大学生対象のプログラム開発について、昨年度から連携させていただいている安田女子大学教育学部児童教育学科の土井徹先生からホットな投稿記事をいただいたので紹介します。

【 特別投稿: 第15回ヨーロッパ科学教育学会 (ESERA2023)に参加して 】

「江田島里海学習 (マリン・アドベンチャー)」を外国の研究者たちに紹介してきました!

令和5年8月28日(月)~9月1日(金)、トルコ中央部のネヴシェヒル(カップドキアの近く)にある Nevşehir Hacı Bektaş Veli University (ネヴシェヒル・ハジュー・ベクタシュ・ヴェリ大学) で開催された第15回ヨーロッパ科学教育学会 (THE 15TH CONFERENCE OF THE EUROPEAN SCIENCE EDUCATION RESEARCH ASSOCIATION (ESERA)) に参加し、「江田島里海学習 (マリン・アドベンチャー)」について口頭発表を行ってきました。この学会は2年に一度ヨーロッパおよびその近隣の国々を会場に開催され、ヨーロッパ各国はもちろん、中東、アフリカ、アジア、オセアニア、北米、南米の様々な国々から科学教育の研究者が集い、研究成果を交流する場です。



土井 徹 先生

発表のタイトルは「Case Study of Building an Environmental Education Platform Through Cooperation Between the Science Museum, Schools, and City」でした。タイトルからおわかりいただけるように、内容は、主に「マリン・アドベンチャー」を支える市・市教育委員会、さとうみ科学館、市内小学校の連携・協働のしくみでしたが、併せて「マリン・アドベンチャー」の実際と参加者にどのような影響を与えていると考えられるかについても紹介してきました。

参加者が1000人を超える大きな学会ということもあり、同一時間帯に30会場それぞれ4人が90分枠の中で発表・質疑応答がなされるというものでした(詳しくはESERA2023のプログラムをご覧ください。 <https://virtual.oxfordabstracts.com/#/event/3790/program>)。

発表日の8月31日、同じ会場には私を含めて4人のプレゼンター(日本、イスラエル、トルコ、スペイン)。私は最初の発表でしたが、トルコの研究者から「素晴らしいプログラム!でも、世界のすべての学校が同じような立地にあるわけではありません。近くに出かけていく適切な場所がない学校であれば、どういう工夫が考えられるでしょうか?」との質問がありました(この研究者からは、発表2日後に、「発表内容に強い興味をもちました。子どもたちや先生方のリアクションに関する共同研究ができませんか?」とのメールをもらい、メールのやり取りをしているところです)。4人の発表が全て終わり、別の会場に移動しようとしている私に、スペインの研究者(科学イノベーション省のディレクター)が声をかけてくれました。「私たちも博物館と学校が協働していくつものプログラムを開発・実施していて、その効果について大学の研究者が分析しているところです」と実践をまとめた写真集を手に熱く語ってくださいました。今後の交流をお願いするメールを送り、返事を待っているところです。



(学会会場にて)

私は、生物多様性保全に関する大学生対象のプログラムを開発する過程で、西原館長をお訪ねし、お話を伺う中で「マリン・アドベンチャー」の素晴らしさに感服し、このたびESERA2023で紹介したわけですが、世界の研究者が集まる場で興味をもって声をかけてくれる研究者がいるというのは、素晴らしいことです。改めて、このプログラムの素晴らしさを再認識した次第です。

2023.9.9 記 安田女子大学 土井徹

中学生の専門員大活躍！

毎年、夏休み中に行われる職場体験学習（キャリア・スタート・ウィーク）。今年度は、8月22日～24日の3日間、大柿中学校5名、能美中学校5名、計10名の中学2年生を受け入れました。“自然をあつかう職業”にはどんなものがあるか考えてもらいながら、日頃さとうみ科学館で行っている教育普及活動・調査研究活動をはじめ、さまざまな業務に取り組んでもらいました。



◆ 職場体験のメンバー ◆

奥迫 萬次郎くん・川崎 宥輝くん・久保田 健太くん・谷岡 鵬晶くん・山下 巨翔くん
高林 一誠くん・南波 慧くん・花高 百陽くん・堀野 正宗くん・吉村 拓朗くん

＜さとうみ科学館での職場体験学習のポイント＞

1. 「時間を守る」「挨拶・返事をする」を大切に！
2. 仕事の説明を聞いて、わからないことがあったら、必ず質問をする！
3. 「仕事」と「休憩」のメリハリをつけ、チームで協力して取り組む！

タッチプールの清掃！



竹林で竹の切り出し！



収蔵標本の整理！



★主な仕事内容★

- 水槽メンテナンス
⇒タッチプールの清掃。給餌
- 講義
⇒「地域の教育資源について」
「江田島湾のカブトガニの現状」
- 放課後児童クラブ支援
⇒事前準備・予備実験・本番
- サイエンスキャンプ事前準備
⇒竹林での竹切り出し
- 収蔵資料整理
⇒収蔵標本の分類・整理
- 広報活動
⇒ニュースレターづくり（原稿作成・入力）



チームで仕事をするには毎日のミーティングが重要です！

中学生の職場体験レポート

<職場体験を振り返って>

- ◆さとうみ科学館では海関係の仕事だけでなく、放課後児童クラブで輪ゴムを使った遊びを小学生に教えたり、キャンプの準備で竹の切り出しをしたり色々な仕事をしていることを知りました。あとはしっかりコミュニケーションも取りながら仕事をやらなければならないと思いました。(奥迫 萬次郎)
- ◆9月に行うキャンプの準備では、実際に竹の切り出し加工を体験し、何事も協力なしでは難しいことを学びました。一人では難しいことも大人数ですればスムーズかつ効率的に物事を運べるということを知りました。その経験を常に思い動けるように精進していこうと思います。(川崎 宥輝)
- ◆3日間の職場体験で僕が前よりできるようになったことは、知らない人とでも話せるようになったことです。また、竹を切り出す作業を体験したことで、協力することの大切さも学びました。言われたことだけをやるのではなく、自分から進んで動かないといけないと思いました。(久保田 健太)
- ◆この3日間の職場体験では、力仕事や人と話す能力がいるのだなと感じました。標本の整理で重いものを運んだり、配置を変えたり、キャンプの準備で竹を切りに行ったり、児童クラブに行って児童と触れ合ったりしたときにそう思いました。(谷岡 鵬晶)
- ◆この3日間の職場体験で感じたことは、仕事には楽しいこともあれば、つらいこともあるんだなということです。また、仕事をする上では、計画を立てて実行する力、自分に何ができるか考えて行動する力が必要なんだと学びました。(山下 巨翔)
- ◆3日間の体験を通じて、仕事をするときは周りの人たちと協力することが大切だなと思いました。大変な事でも他の人たちと協力することで、楽しく仕事ことができました。人と関わることは、すごく大切なことだと知りました。(高林 一誠)
- ◆3日間の体験で、みんなと活動する中で、江田島の今を残していくことが大切ということを知り、さとうみの大切さを知ることができ、今後、大人になったときに、江田島のことを世界に知らせることができたらいいなと思いました。(南波 慧)
- ◆3日間のさとうみ科学館での職場体験で、仕事をするという大変さやカブトガニなどの絶滅危惧種を絶やさず守っていく大切さを学べたなと思います。カブトガニの生息分布調査には行けなかったけれど、とても楽しかったです。(花高 百陽)
- ◆3日間の体験を通じて、いろいろな勉強ができました。江田島にしかない生き物を守っていききたいな、この江田島ならではの生き物たちを日本中に広めることができたらいいなと思いました。(堀野 正宗)
- ◆水槽の掃除、エサやり、児童クラブでのゴム遊び、講義、標本整理などを体験しました。色々なことを学ぶ中で、「楽しみながら仕事をする」ことが大切だと思いました。自然の面白さ、自然の中にいる楽しさを感じ、これからも自然を楽しみたいと思います。(吉村 拓朗)



◆ 第187回自然観察会 ◆

夜の海に輝くウミホタル観察会

夜の海に輝く“宝石”「ウミホタル」。ウミホタルの観察は、観察会でも人気のプログラムの1つです。簡単なしかけで、誰でも簡単に採集することができます。神秘的な自然の光を楽しみたいと思います！きっと感動しますよ！

日 時：令和5年10月21日（土）
18：30～20：00

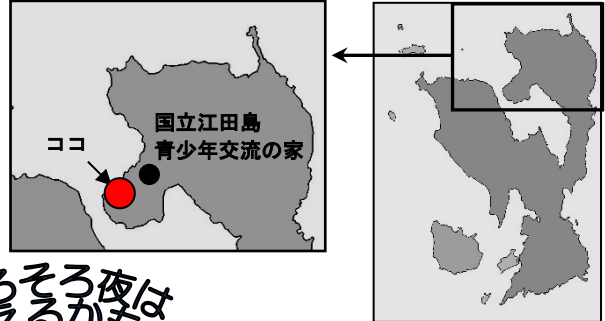
受付時間：18：00～18：30
(受付と駐車誘導を行います)

集合場所：江田島町津久茂 荒代（あらしろ）海岸
観察場所：荒代（あらしろ）海岸の棧橋

申し込み：先着20組

令和5年10月18日（水）までに
事務局へお申し込み下さい。

【注意】 小中学生は、必ず大人の人と一緒に参加して下さい。



そろそろ夜は冷えるかも！

☆持ってくるもの☆
懐中電灯、タオル など

潮見表 10月の観察に適した日時（干潮時刻と潮位）

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
時分	4:33	5:08	5:42	6:15	6:50	7:28	8:24	10:39	0:51	1:30	2:00	2:27	2:53	3:19	3:46	
cm	29	24	30	45	68	97	126	142	185	158	132	109	88	68	52	
時分	16:51	17:27	18:03	18:39	19:19	20:21	23:32		12:16	13:15	13:57	14:31	15:03	15:33	16:03	
cm	55	85	119	153	185	211	211		133	114	96	82	73	70	74	
10月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
時分	4:15	4:45	5:15	5:48	6:23	7:06	8:09	9:54	11:41	0:52	1:36	2:16	2:53	3:29	4:05	4:39
cm	40	32	31	37	50	70	94	108	99	136	98	63	34	14	5	5
時分	16:35	17:07	17:42	18:19	19:04	20:07	22:06	23:54		12:53	13:47	14:32	15:13	15:52	16:29	17:06
cm	84	99	118	142	168	191	197	172		79	61	53	56	69	89	111

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和5年 潮汐表（海上保安庁）から

潮位30cm未満（網掛けにしている日）が調査に適しています。

事務局だより

●倉橋でカブトガニの死骸！・・・8月26日、呉市倉橋町横島の沖で、シュノーケリング中の方がカブトガニ（成体メス）の死骸を発見。以前から生物情報を届けてくださる平本勝美さん（呉市）から連絡をいただき、早速、聞き取り調査を行い、標本を持ち帰りました。腹側の大きく欠損していましたが、背側の甲の表面には、オスとつがった痕跡がみられました。海の仕事に携わる平本さんも倉橋島周辺でカブトガニをみるのは初めてで、知り合いの漁師さんから昔聞いた話からしても数十年ぶりのこと。新たな生息地確認につながるか、今後の情報が待たれます。



●休日開館日（10月）のお知らせ・・・10月の休日開館日は、14日（土）・28日（土）、9：30～17：00（入館は16：30まで）です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館 Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214
広島県江田島市大柿町深江1073番地1
TEL：(0823) 57-2613
FAX：(0823) 40-3100
メール：satoumimail@yahoo.co.jp
HP：『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館長：西原 直久
主任：平山 良太
運営指導員：大下 敏幸
運営指導員：花崎 直子
支援員：木村 さつき
里海ナビゲーター：守本 怜矢



(友の会会員 シニア 175名 ジュニア 133名)

◆あとがき◆さとうみキャンプで小学生が海の漂着物でいかだを作るのをサポートしています。職場体験で中学生が切ってくれた竹や、私が普段から拾っているお宝（漂着ゴミ）も材料に持ってきました。最終日に無人島に渡るのが楽しみです。（花崎）